

# 宮城県の復興に向けた取組

令和5年11月22日

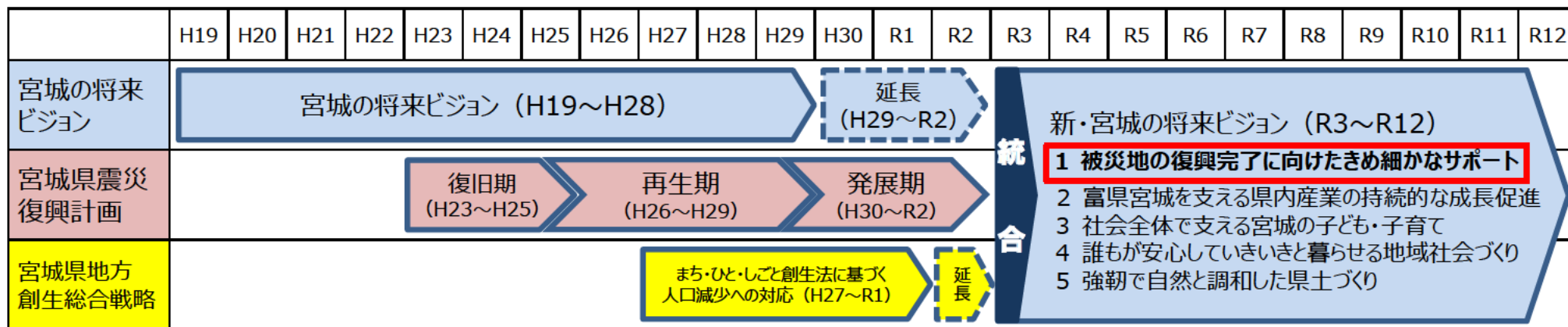


仙台・宮城観光PRキャラクター  
むすび丸

# 「新・宮城の将来ビジョン」における震災復興の位置づけ

被災地では、より切実できめ細かな対応を要する課題が残されていることから、県の政策推進の基本方向に基づく取組に加えて『被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート』を実施し、被災地も含めた本県の持続可能な未来づくりを推進しています。

## 1 計画策定の経緯と期間



## 2 被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート

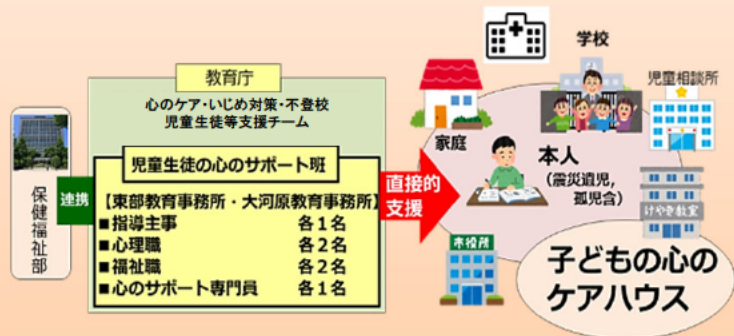
<h3>取組分野 1</h3> <p>生活再建の状況に応じた切れ目のない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもから大人まで切れ目のない心のケア</li> <li>● 見守り、生活相談</li> <li>● 地域コミュニティの形成支援</li> <li>● 児童生徒へのきめ細かな対応</li> </ul>	<h3>取組分野 2</h3> <p>回復途上にある産業・なりわいの下支え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・設備を復旧する事業者の経営支援</li> <li>● 農林漁業者の生産力回復等の支援</li> <li>● 沿岸被災地への観光誘客に向けた支援</li> </ul>	<h3>取組分野 3</h3> <p>福島第一原発事故への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害者への各種支援</li> <li>● 被災地の食品等に対する風評払拭のための継続した放射性物質検査、国内外への情報発信</li> <li>● 除去土壌、放射性物質汚染廃棄物等処理支援</li> </ul>	<h3>取組分野 4</h3> <p>復興事業のフォローアップと成果・教訓の伝承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 復興完了に向けた取組の推進</li> <li>● 震災の記憶、復旧・復興の過程を含め、得られた教訓の国内外、未来への伝承</li> </ul>
--	--	---	---

# ◆取組分野1 生活再建の状況に応じた切れ目のない支援

子どもから大人まで切れ目のない心のケア、見守り・生活相談、地域コミュニティの形成支援、児童生徒へのきめ細かな対応等を実施し、生活再建と生活環境の確保を確実にしていきます。

1

## 児童生徒の心のケアの取組



### 子どもの心のケアハウス運営支援

不登校やいじめ等、様々な事情により、学校生活に不安を抱えている児童生徒の社会的自立に向けた支援を目的として市町村が行う体制整備(心のケア、自立支援、学習支援)を支援。

- ◆ケアハウス設置市町村：33市町村(令和4年12月31日現在)
- ◆支援児童生徒数：延べ43,315人(平成28年4月～令和4年12月)

3

## 地域コミュニティ再生支援の取組

### 地域コミュニティ再生支援事業補助金

災害公営住宅等において自治会等の住民団体が主体的に行う地域コミュニティ活動への補助を通じて、地域コミュニティの再生に向けたスタートアップ支援を行う。

◀これまでの実績▶

- ◆補助金交付件数：延べ741件(平成27年度～令和5年7月末)
- ◆補助対象事業：
  - ・コミュニティ再生事業(人間関係構築、プランづくりなど)
  - ・コミュニティ元気づくり事業(地域活性化イベント、集落行事の再生、生活安全の確保、生活環境の維持など)
  - ・震災経験伝承事業(震災時の地域の一体感の再醸成を図る継続的な地域での取組など)

### 【具体的な取組事例】

茶話会、囲碁教室、他地域交流会夏祭り、芋煮会、防犯パトロール、一斉清掃、防災訓練、震災講話など



▲多世代の住民で賑わう復興公営住宅での夏祭り(名取市関上西町内会)

2

## 県民の心のケアの取組

### 「みやぎ心のケアセンター」

心のケア拠点としての「みやぎ心のケアセンター」を平成23年12月に開設。平成24年4月には石巻市と気仙沼市に「地域センター」を設置し、被災者を対象とした訪問支援や相談会の開催、支援者の研修会など、心のケアに関する支援体制を整備。

- ◆相談支援47,549件 電話相談18,730件(平成24年4月～令和5年3月)
- ◆子どもの心のケア実績  
相談事業 2,446件(平成28年～令和5年3月)

4

## 地域復興支援の取組

### みやぎ地域復興支援助成金

被災者の生活再建と生活環境の確保のための支援を行う民間団体等に対する活動資金の助成を通じて、地域の復興完了に向けた切れ目のない支援を行う。

今後は、被災地の復興の進捗状況に応じて、被災者の生活再建のための取組に重点化を図り支援を行っていく。

◀これまでの実績▶

- ◆助成金交付件数：延べ569件(平成25年度～令和5年度)
- ◆主な支援の分野  
コミュニティ支援、心のケア、教育・子育て支援、保健・福祉など

## ◆取組分野2 回復途上にある産業・なりわいの下支え

被災した商工業者、農林漁業者の販路・売上の回復のため、施設・設備を復旧する事業者の経営支援や農林漁業者の生産力回復等の支援のほか、沿岸被災地への観光誘客に向けた支援を実施します。

### 1 宮城県中小企業等グループ補助金による支援状況

平成23年度から令和5年7月末までに第31次までの募集を実施し、385グループ、4,485件、総計2,819.6億円の交付決定を行いました。

令和3年度からは、復興に必要な土地造成が完成しないなど、事業者の責めに帰さない事由によりこれまで復旧に着手できなかった事業者に限り、交付決定を行っています。

令和5年7月末現在で約99%の事業が完了しています。



◀グループ補助金を活用して整備された店舗  
(東松島市)



◀グループ補助金を活用して整備された水産加工施設  
(気仙沼市)

### 2 復興ツーリズム

沿岸部で語り部体験や被災地、復興商店街を回って復興の現状について学ぶとともに、沿岸部と内陸部をつなぎ、内陸部で食や自然景観、温泉などの既存の魅力も楽しんでいただく復興ツーリズムの振興を行っています。

- ・みやぎ観光復興支援センターの運営
- ・復興ツーリズムのPR  
(札幌, 東京, 大阪, 福岡) など



▲語り部ガイド

### 3 外国人観光客の誘致

震災や原発事故による風評を払拭し、外国人観光客の回復を図るため、東北観光推進機構や東北各県などとの広域連携により外国人観光客の誘致に取り組んでいます。

- ・東北トップセールス (バンコク)
- ・観光博覧会への出展 (台湾、韓国、タイ)
- ・旅行会社・メディアの招請事業
- ・台湾からの教育旅行誘致
- ・外国人観光客誘致促進に向けたプロモーション など



◀東北観光推進機構主催「バンコクトップセールス事業」による観光PR

## みやぎ水産応援パッケージ

8月24日から東京電力福島第一原子力発電所の多核種除去設備等処理水（ALPS処理水）の海洋放出が始まり、一部の国等においては日本からの水産物輸入禁止措置が講じられるなど、水産業界関係者や輸出関係事業者に影響が出ております。県では処理水海洋放出の影響を緩和するため、緊急的に「4本柱」の支援を行い、国の支援と一体となり、水産物の安全性や魅力をPR、事業者寄り添った支援を推進し、水産物の消費拡大と関連産業の経営安定を図ります。

### 《 支援「4本柱」 》

**相談窓口** ・相談窓口の設置  
・個別相談会の開催

**経営支援** ・経営相談(専門家派遣等)  
・後継者対策

**情報発信** ・県産品の安全性発信  
・モニタリング結果の発信

**販売促進** ・三陸常磐ものの利用  
・販売会等の開催

### 応援メニュー

#### 【相談窓口】

- 処理水の海洋放出に関する漁業経営相談窓口の設置 → 融資制度の相談、経営アドバイス、専門家派遣など
- 処理水の海洋放出に関する損害賠償請求説明会・個別相談会の開催 → 10月中旬から延べ5回開催

#### 【経営支援】

- 漁業経営サポート資金の発動 → 500万円上限/者、償還期間2年（据置期間1年）、無利子
- 次世代漁業人材向け漁船等導入支援 → 若手漁業者の定着に向け、独立・自営に必要な漁船・漁具の導入支援

#### 【情報発信】

- 県産水産物PR応援キックオフイベントの開催(9月22日)
- みやぎ原子力情報ステーション等の充実強化
- 水産物安全確保対策事業(放射性物質検査)

#### 【販売促進】

- 県庁食堂での三陸常磐ものの利用(9月26日～)
- 県庁1階ロビーでの販売会の開催(9月26日～)
- 水産加工品等の販路開拓強化支援(商談会支援、ポイントアップキャンペーン)
- 輸出基幹品目販路開拓(カキ・ホヤ)
- 東南アジア宮城県産品マーケティング支援 など



今後も事業者からの意見を伺いながら、必要な施策に取り組んでまいります。

## ◆取組分野4 復興事業のフォローアップと成果・教訓の伝承

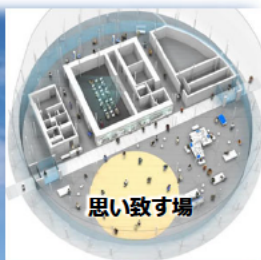
今後起こり得る自然災害において一人ひとりが命を守るための行動をとれるよう、震災の記憶や、復旧・復興の過程を含め、得られた教訓を県内はもとより国内外、そして未来へと伝えます。

### みやぎ東日本大震災津波伝承館での各種取組



#### 【東北大学災害科学国際研究所との共同研究】

大学が有するノウハウ等を提供いただきながら、「多様な主体との連携」「次世代の担い手の育成」「情報の蓄積とアーカイブ発信」をテーマに、伝承館をフィールドとした様々な取組を実施しています。



◀ 多様な主体との連携  
(リアル開催)

ウェブ配信とアーカイブ化▶  
(蓄積)



#### ☆企画展の実施



#### ☆次世代の担い手の育成の 取組例



震災伝承の拠点としての「みやぎ東日本大震災津波伝承館」